

【新潟税務署長賞】

「税について」父との会話から」

新潟市立坂井輪中学校

三年 吉田 杏

税を考えるにあたり、私は消費税などの知識がなく、無知であったため父に話を聞いてみました。

父いわく、世界的な物価高騰の影響で「消費税」「所得税」「法人税」主要三税が増加し、一般会計の税収は過去最高となったそうです。私自身、日常生活において、直接的には消費税を負担している程度だが、正直物を買うとき税込みだと高いと感じることがあり税金に対してあまり良い印象はありませんでした。それでも社会保障費が膨らみ続ける今、更なる増税は避けられないのだそうです。

しかし、父は次のようなことも言っていました。「増税と聞くと世論をはじめ野党からものすごい批判が起こるが、このような批判が一番危険だと思う。超富裕層や大企業からとつと沢山取れという声もあるが、超富裕層や大企業への課税を強化したらみんな外国へ逃げていくだろうし、トータルで損をしてしまう。だから未来永劫日本の繁栄を願うのであれば税の仕組みをしっかり理解し、歳入と歳出をしっかり監視していくのは勿論、労働力人口を増やして専門教育を充実させ、海外並に効率よく稼ぐ仕組みづくりを実現させることが重要だと思うよ。」

これを聞いて私もその通りだと思いました。日頃、インターネットなどを見ていると、ウクライナなどに兵器を供給し

たり、災害や貧困で困っている国などに人道支援として、多額の援助をしていることに対してそんな余裕があるならもつと日本のために使えなどという意見を目にするがあります。この点に関しても税の考え方と同様で、今の日本の安全が保たれているのもアメリカをはじめ、世界各国との良好な関係が保たれているからこそであり、もしそれらの支援を打ち切ってしまうとすると、世界からどんどん孤立してしまい一気に攻め込まれてしまうということにもなるのではないのでしょうか。

世界における日本のあり方をしっかりと理解しておけば、それらの支援がいかに必要なものであるかが見えてくると思いますし、いかに全体のバランスが重要なかが見えてくると思います。

ひとつひとつの事柄のみに注目するのではなく、全体の仕組みやそのバランスをしっかりと考え、見つめていくことが重要なのではないのでしょうか。

これから、高校、大学へと進学を続け大人へと近づいていくにつれ、社会や税について関わる部分が多くなると思いますが、まだ分からないことは沢山ありますが、いかに税金によって支えられているのか、その大切さを理解し、多様な考え方を持って税に関する知識を高めていきたいと思えます。